

映像記録保存事業 申請概要書

事業実施者	団体名	南城市			
	代表者名 代職氏名	南城市長 瑞慶覧 長敏			
申請する 伝統芸能等 の概要	名称	神話の里—南城市の聖地—			
	内容	南城市内には琉球開闢神アマミク（アマミキヨ）が創設した七御嶽や琉球王府が祭祀儀礼の地が存在し、各聖地では「五月ウマチー」、「清明」、「八月マティ」、「親田御願」、「浜下り」、「八月十五夜」等の独自の地域行事が節目ごとに行われている。これらの伝統行事を最新の映像で記録することで地域の文化継承を促し、市の歴史文脈として体系的に捉え直す。			
		文化財の指定状況	市指定無形文化財「親田御願」（仲村渠区）		
	所要時間	各祭祀行事が2時間程度、全体でおよそ12時間。			
	収録時間	各行事の代表的なシーンを2時間程度にまとめて収録			
	実演場所	知念城跡、斎場御嶽、クボー御嶽近隣の拝所、受水走水、浜川御嶽、玉城城跡			
	出演者の概要	保存会等の名称	知念区、安座真区、久高区、仲村渠区、百名区、玉城区の各自治会。		
		年齢構成	10代以下	人	50代
		20代	6人	60代	18人
		30代	12人	70代	12人
		40代	18人	80代以上	4人
				合計	66人
	出演者以外の参加者等の概要				
事業のスケジュール	①シナリオ作成4月～6月、②撮影7月～9月（「八月マティ」9月8日～10日、「八月十五夜」9月13日）③編集10月～11月、④仕上げ12月。 基本的に以上のスケジュールで行うが、期間外の行事に関しては前後して撮影する（「清明」平成31年4月5日、「浜下り」4月7日、「五月ウマチー」4月11日、「親田御願」平成31年1月下旬）。				
成果物の利活用の計画	制作したDVDを市内の全自治会に提供し、地元の伝統芸能の保存・継承に活用してもらう。また、学校や各種団体へも提供し、学校教育や社会教育等に活用していただく。そのほか市ホームページ等に掲載することで市内外へ発信し、南城市の無形文化財に対する理解の促進や啓発につなげる。				

自 主 性	1 企画立案の経緯		
	企 画 者	団 体 名	南城市教育委員会
		担 当 部 課 名	文化課
		担 当 者 職 氏 名	大城 洋介
<p>事業企画の具体的な経緯</p> <p>南城市には琉球国の史書に登場する琉球開闢にまつわる聖地が点在し、現在でも「東御廻り」の巡礼地として市内外から多くの人々が訪れているほか、地元には各聖地にまつわる伝承が存在し、独自の祭祀行事が行われている。合併前の旧4町村ではそれぞれの聖地における祭祀行事を記録しているものの、全体を通じた記録がみられないほか、各地において保存・継承が希薄化している現状がある。よって、これらの伝承や伝統行事を映像で記録することで文化継承を促し、さらには市内各地の聖地をめぐる伝統行事を改めて市の歴史文脈として体系的に捉え直すことで、地域振興にも寄与すると考える。</p>			
地 域 資 源 性	2 制作実施の体制		
継 続 性	<p>※当該伝統芸能等が長年受け継がれてきた現状や、その地域で記録を行う必要性などを具体的に記入して下さい。</p> <p>当市には琉球国時代の史書に現れる琉球開闢神アマミクが創設した聖地や王府の重要な祭祀の場所であった御嶽（聖地）が多数存在し、現在でも「東御廻り」の巡礼地として市内外から多くの人々が訪れており、古より信仰の場として崇められてきた。また、地域ではそれらの御嶽に関連する伝承や祭祀行事が伝わっている。これらの伝統行事は琉球・沖縄文化の精神性を体現しており、歴史的民俗学的にも重要な地域資源である。</p>		
新 規 性	1 現在講じている保存・継承手段		
	<p>無形文化財に対する補助金の交付や、各地の行事ごとに職員が写真や音声等で調査・記録を行っている。また、「地域孫会議」事業で古写真のスライドショーを開催し、お年寄りの話を通じて地域の歴史や伝統行事の継承を行っているほか、「文化遺産めぐりコンサート」を実施し、地域の文化遺産においてコンサート等を開催することで、地域の拝所や御嶽の歴史を再確認している。</p>		
新 規 性	2 今後の保存・継承手段		
	<p>上記のほか、本事業で制作した映像資料を各自治会へ提供することで伝統行事の保存・継承に活用していただく。また、断絶したり簡素化された行事等の調査を行い、地域自治会と連携してその復元を試みる。</p>		
新 規 性	<p>※これまでに申請者が実施した地域伝統芸能等の映像記録事業を記入して下さい。</p> <p>これまで平成17年度の「久高島の年中行事」や平成20年度の「久高島の年中行事 2（久高島の伝統行事・神女たちの祈り）」、平成22年度の「五穀発祥の地南城・豊穡への祈り」等の映像記録事業を行った。</p> <p>この度の事業では、「南城市の聖地」というより広角的なテーマから各聖地とそれに関わる伝承や伝統行事を記録することで、地域の伝統文化の保存・継承のみならず、市の文化や歴史資源の体系化につながる。また、国内でも独自の文化を有する琉球・沖縄の精神的文化の映像記録という点では沖縄や日本の文化振興に大きく資するものと考えられる。</p>		